

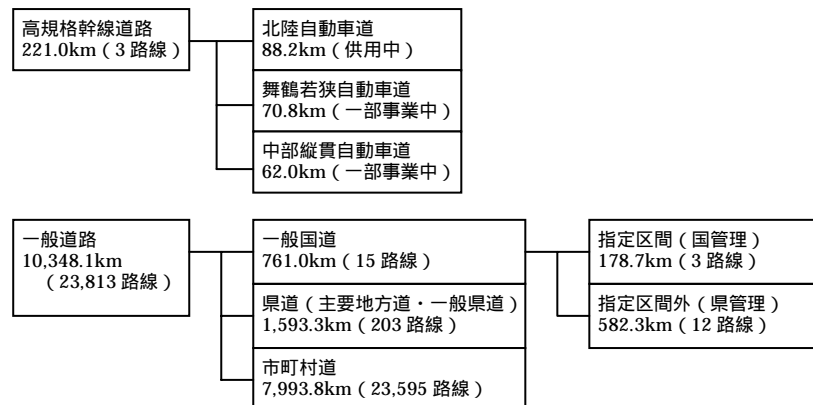
第2章 道路の現状と課題

(1) 道路の現状

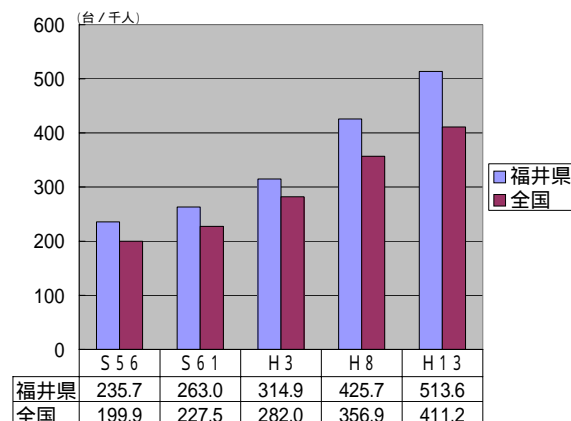
福井県は、北に石川県、南に滋賀県と京都府、東に岐阜県と隣接しており、各府県に通じる高規格幹線道路である北陸自動車道、舞鶴若狭自動車道（一部事業中）^{*1}、中部縦貫自動車道（一部事業中）^{*2}と15の一般国道を軸とし、それらに主要地方道、一般県道、および市町村道が接続して道路網を形成しています。

一方、自家用乗用車の保有台数は人口千人あたり513.6台と2人に1台を越えており、通勤・通学時の交通手段などを見ても、自動車交通への依存度が高く、道路が日常生活や経済活動の最も主要な交通基盤施設であるといえます。

また、観光入込客の利用交通機関は、約7割が自家用自動車を利用していることから、観光振興等の面からも重要性が高くなっています。



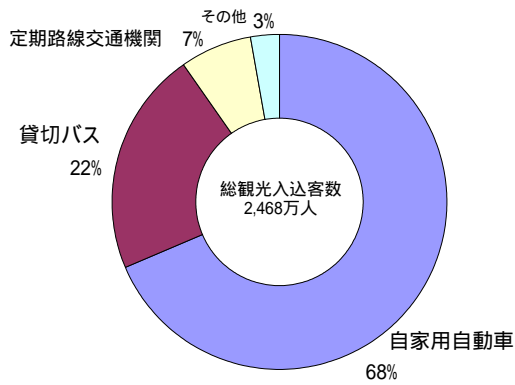
本県の道路網構成 (平成14年4月1日現在)



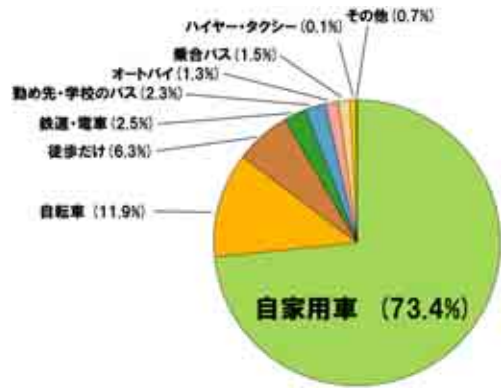
人口千人あたりの自家用乗用車保有台数の推移

*1 舞鶴若狭自動車道のうち小浜西 I.C.以西（県内区間 20.8km）は供用中。

*2 中部縦貫自動車道のうち越坂トンネル（1.2km）、油坂峠道路（県内区間 1.6km）は供用中。

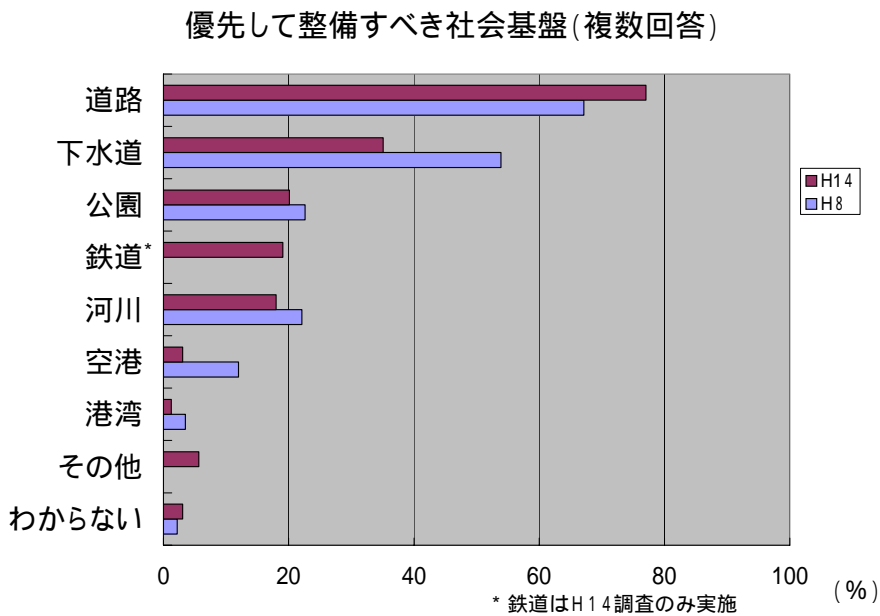


観光入込客数の利用交通機関別割合
(平成14年12月31日現在)



通勤・通学時の利用交通手段
(平成12年度 国勢調査より)

さらに、平成14年4月に県民を対象に実施した「福井の道路についてのアンケート」の中で「優先して整備すべき社会基盤について」では、道路という回答が77%に達していることから、県民の道路整備に対するニーズは非常に高いといえます。



福井の道路についてのアンケート結果より

(2) 道路整備の課題

道路状況の課題

- ・ 福井県の高規格幹線道路のうち、北陸自動車道は全線供用しているが、舞鶴若狭自動車道、中部縦貫自動車道については事業中であり、供用率は50.6%にとどまっている。
- ・ 一般道路の整備状況は、主要幹線道路である一般国道や主要地方道では改良率が7割を超えているが、一般県道や身近な生活道路である市町村道については歩道設置も含めた改良が遅れている。
- ・ 福井市中心部に向かう路線や、一般国道8号および27号などで朝夕の通勤時間の交通渋滞が恒常的に発生しているため、混雑度を考慮した整備率は低い値となっている。
- ・ 冬期の積雪による交通の阻害や観光地周辺における行楽シーズンの交通渋滞が、周辺住民の生活環境に大きな影響を与えている。
- ・ 県境部や市町村の境界部では交通不能区間や冬期通行不能区間*が多く残っており、これらが隣接府県間や県内市町村間の交流と連携を阻害している。

道路現況

道路種別	路線数	実延長	改良済*2*3		舗装済*4		歩道設置		整備率*5	交通不能区間 道路延長	
			改良済延長	改良率	舗装延長	舗装率	歩道 設置延長	歩道 設置率			
高速自動車国道	2	109.0	109.0	100.0%	109.0	100.0%	-	-	-	0.0	
一般 国道	指定区間	3	178.7	178.7	100.0%	178.7	100.0%	100.9	56.5%	22.4%	0.0
	指定区間外*1	12	582.3	474.7	81.5%	475.5	81.7%	190.2	32.7%	66.8%	12.2
	小計	15	761.0	653.4	85.9%	654.2	86.0%	291.1	38.3%	56.3%	12.2
県道	主要地方道	38	564.9	415.5	73.6%	403.0	71.3%	202.9	35.9%	53.6%	10.5
	一般県道(独・自除く)*1	162	984.9	580.1	58.9%	503.5	51.1%	250.6	25.4%	49.0%	17.3
	独立専用自歩道	3	43.5	-	-	6.4	14.7%	-	-	-	0.0
	小計*1	203	1,593.3	995.6	64.2%	912.9	57.3%	453.5	28.5%	50.7%	27.8
市町村道*1	23,595	7,993.8	1,740.2	21.8%	1,493.8	18.7%	564.4	7.1%	67.4%	434.7	

*1 有料道路を含む

出典：道路現況表、道路統計年報

*2 改良率は独立専用自歩道を除く

*3 5.5m以上改良済延長、率

*4 高級舗装延長、率

*5 整備率 = (5.5m以上改良済かつ混雑度1.0以下の延長 / 実延長) H11センサスに基づく推計値

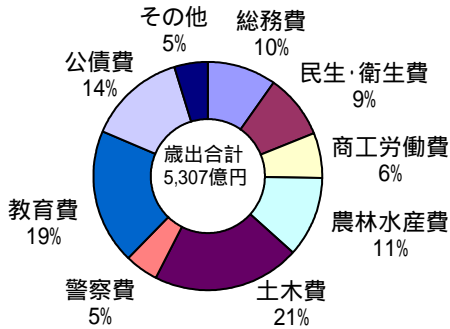
「高速自動車国道」の各数値はH15.4.1現在、「整備率」はH13.4.1現在、それ以外の数値はH14.4.1現在のもの。

* 交通不能区間は18箇所、冬期通行不能区間は33箇所ある。

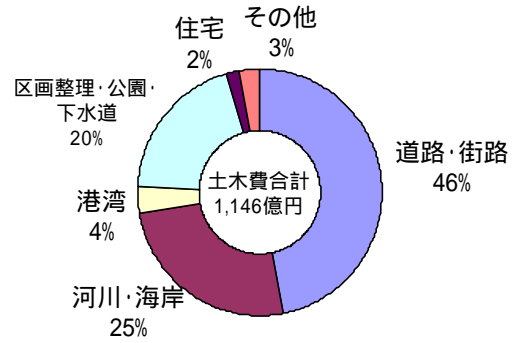
道路行政の課題

福井県の一般会計歳出の目的別構成比は、土木費の割合が一番高く、そのうち、道路・街路事業費の占める割合が約46%と一番高いものとなっています。

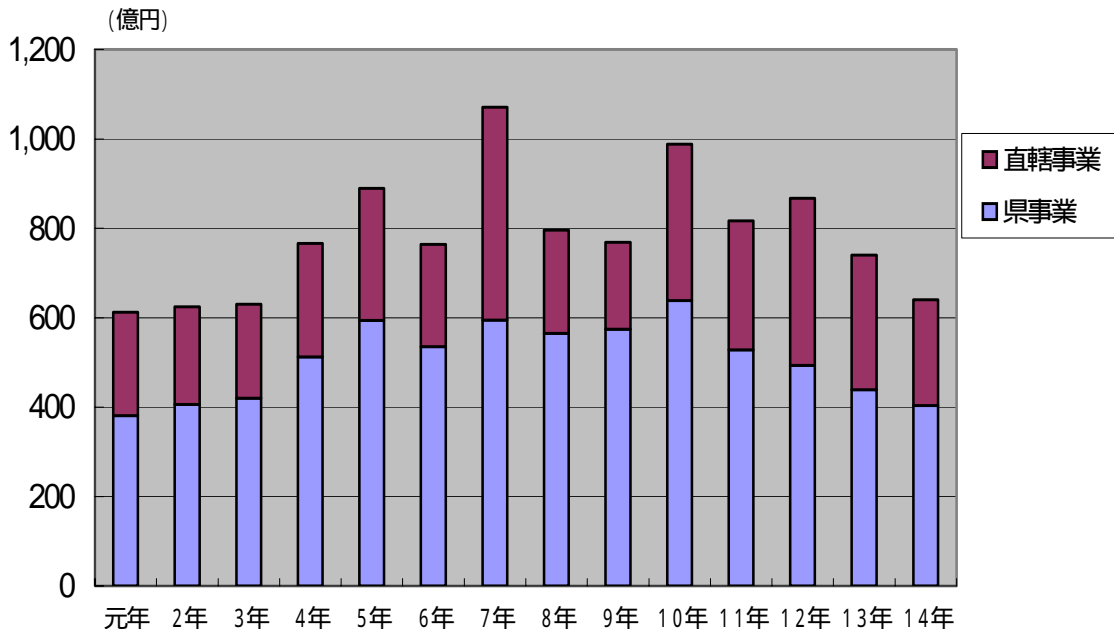
近年の道路事業費の推移は、財政状況の厳しさから、年々、抑制されている状況となっています。



平成14年度 福井県一般会計歳出決算構成比



平成14年度 福井県土木費構成比



道路事業費の推移 (直轄・県事業)

道路事業を進めるに当たって、下記のような課題が発生しています。

- ・ 近年の厳しい財政事情などにより、これまでのように多くの事業箇所と同時に整備を行うことが無理な状況になっているため、既存道路の機能を最大限に活用することが重要になっている。
- ・ 地方の実情に合わない、全国一律な道路規格の適用による建設費の上昇や、事業期間の長期化により整備効果がなかなか得られないといった問題が現れている。
- ・ コスト縮減を図るため、建設費だけでなく、維持管理の手法や費用も考慮する必要がある。
- ・ 事業を円滑に進めていくため、必要性や整備効果などについてこれまで以上に情報開示を行い、地域の住民の声を聞いて合意形成を図るなど、理解を得ていく必要がある。
- ・ 交通の円滑化や環境問題への対応のため、渋滞の解消や自動車交通量の抑制についても取り組む必要がある。